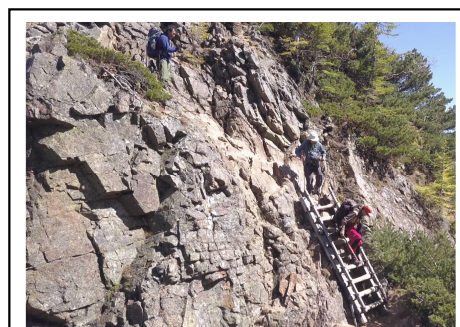


令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信州山のおもてなし」推進事業
事業主体 (連絡先)	常念口登山案内人組合 (090-3343-6445)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業 (6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,846,200円 (うち支援金: 3,076,000円)

事業内容

- ・全国の登山愛好家や地元の人たちにも組合の活動を知ってもらい、後継者を育成するため、昭和初期の組合員の日記から組合の歴史、また偶然にも出会った新しい組合員の加入までを映像にまとめた。
- ・映像のDVDを各所へ配布し、登山案内人を目指す人たちを募ると共に北アルプス観光の推進を図った
- * 予定していた地元の公民館などでの上映会は、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため4月以降に延期せざるおえなかった。



【令和元年 10月9日撮影】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①撮影中に出会った、鈴木規之さん(埼玉県から安曇野市に移住、信州登山案内人試験に合格)が常念口登山案内人組合に加入してくれたことは現組合員の意識向上に繋がった。また、鈴木さんと常念口登山案内人組合寺島副会長との出会いから鈴木さんの組合加入までの様子を今回の映像に入れられたことで今後も若い組合員の加入が期待できる。
- ②DVDの配布、発信、上映会を重ねることで、登山案内人の需要が増え、北アルプス観光の推進に繋がる。

【目標・ねらい】

- ①組合員の増強・意識向上
- ②北アルプス観光の推進

※自己評価【A】

【理由】

事業を実施する中で、長野県内の組合への加入を模索していた鈴木さんが常念口登山案内人組合に加入してくれたことは、引き続き事業を推進していく上で励みなり、新しい展開が大いに期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・鈴木さんの協力により、信州登山案内人試験対策に関する映像をすることで、若年層の信州登山案内人資格者が増え、北アルプス登山案内人組合連合会(小谷・白馬・大町・有明・常念口・堀金・上高地・乗鞍の北アルプス8つの組合)の若返りが図れる。更に、北アルプス全体の観光推進に繋げる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある